

風の流

【短歌】

岡崎 桜雲 選

草刈りて今年も残すかこの百合道行く人の目にも止まれと
痴呆化は一週間の十日とふ猫を撫でつつ雨日の無聊
バルコニーに仰ぐおぼろな十二夜ちちの盃笑顔を浮かべ
応接間に掛けしカレンダー六月のグランビルの城壁の美よ
じいちゃんひさの温もりしつかりと覚えておけよと孫に言いたる
合歡の木をみかん割りして鎌の柄を箆げたる父よ吾は草刈機振る
ピラカンサ昨日の風に花は散る色変わりして青空のなか
戦いに父を友をも送りしもおぼろとなりて世紀尽きけり
窓たたく雨の音にも驚きぬ淋しからずや一人暮らしは
やはらかき春の陽差しに包まれて名もなき野辺の草も萌え立つ
ライトバン信号待ちで余所見する彼の友たしか生垣の家
孫からのおねだり有るもまた嬉し「近く転勤車が欲しい」
神母木は隘路の出口風の街風鈴が鳴る海風が来る
公園のしだれ紅梅見下ろして遙か秋葉山の日の出を拝む
黄金になびく里山稚の花南国土佐に夏遠からず
壁越しに聞こゆる婿と孫の声おとぎ話に夢中になりて
雄略の御世の郷宮宵祭り力石あげ若者競う
散り急ぐ花びら一つ受けてみる人の命のもろさにも似て
青空に若葉の香り漂って生きる望みをじつとかみしむ
星が好き月が好きああ歌が好き心幼く傘寿を迎う
廃屋の片づけられたる後に咲くボタンの一輪とみに色濃し
世間ではガーデンングと言ふけれど庭の草々にわれは追はるる

五百蔵利美
大岸由起子
岡村 敏子
岡本 初美
楮佐古きよ
小松 隆之
小松 敏子
坂上のぶ子
高田 清子
都築 忠義
西野地 薫
畠山 千江
原 茂
盛岡 雛子
森本 幸美
山崎 貴子
山崎 雅也
公文 千恵
谷内 務
吉本 悦子
武内 弘子
大石 綾子

満開をすぎたれば風に乘せられて家の中まで桜花びら
丈高く若き警官イケメンなり戸別訪問時かけ答ふ
菜園の熟せるえんどう挽ぐ楽し良心市にて今日も完売
八月の記憶のなかに日本へ還ると言つた母の眸がある
同窓の集いありたり久々に会ひたる友の懐かしき顔
米袋二つに詰めたる山菜を谷避けながら坂道ころがす
木々萌ゆる溪谷にかかる朱き橋わたり来るのは若葉風のみ
知らざるは更にむなし家跡に來りて立てるただ呆然と
昨日まで堅き蕾の桜たち春の嵐に今日七分咲き
おすおすと「清ちゃんかね」の電話あり四十年ぶりの古里の友
人の世の哀切に似て極寒の森にこの夜を凍裂の音
故郷のこの地で参るは最後かも生家ありし跡見渡せる墓所
かつては田や畑でありしか峠までつづく石垣は植林の中
お風呂場に暖房つけて幸せな気分ひたる八十四才
ゼラニウム寒に耐えきて蕾見す桜満開の報道のなか
あの人は知ろうとする人何事も吾は迷わず同じ体験
葉群より小さく覗けるやぶ椿鮮烈な赤の匂ひ零れり
霜月に狂い咲きせし黄牡丹の卯月にふたたび庭を彩る
切れかかる蛍光灯は点滅す世界情勢ニユース聴く中
手のうちに裏返へされてかけ湯され赤子だんまり日差し明るく
親株に寄り添い芽独活嬰兒のこぶしの如きむらさき愛おし
渡り鳥双眼鏡で飛ぶ姿覗き見ている私も鳥に

松中 賀代
古川 安子
門田 明子
竹村 咲子
林田 幸子
小松 禮子
公文 正子
小松もとみ
柿田 我里
伊藤 清子
佐竹 玲子
都築 初代
佐々木真里
古谷 由美
小松 信子
宮地 龜好
岩井 純子
寺内 啓子
秋 星
町 耿子
明石 敬恵
吉川 恵

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月1日までに、ご応募ください。
【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782-8501（住所記載不要）FAX 53-5958

図書館だより

市立図書館

◆キラキラ夏休みおはなし会

【日時】 7月21日（土）
10時～12時

【場所】 物部支所2階

【内容】 おはなし会・植木鉢で風鈴作り

【対象】 小学生

【問い合わせ先】

物部分館 ☎52・9295

◆3館合同図書館まつり

【日時】 8月19日（日）

【場所】 市立図書館本館

詳細は後日お知らせします。

◆団体貸し出ししています

図書館では、保育園や学校のほか、福祉施設や医療機関、地域への貸し出しもしています。団体貸し出しは10冊まで可能です。ぜひご利用ください。

◆移動図書館のお知らせ

一時休止していた県立図書館の移動図書館サービスが7月より再開されます。第1回は次の通りの日程です。
本館 8月25日（土）
香北分館 8月18日（土）
物部分館 7月12日（木）

◆全国コンクール課題図書

『青少年読書感想文コンクール』の課題図書を貸し出します。本館には課題図書の全てがそろっています。夏休みに向けて早めの読書をお勧めしていますので、ぜひ、ご来館ください。
小学校低学年の部（4冊）
▽ラルさんのだいくしごと
▽きみ、なにがすき？
▽なぞこのつべ？
▽うたってどきどきして
中学年の部（4冊）
▽レイナが島にやってきた
▽森のおくから最後のオオカミ
▽すこいね！みんなの通学路
高等学校の部（4冊）
▽奮闘するたすく
▽こんびら狗
▽ニマスは生きていた！
中学校の部（3冊）
▽一〇五度
▽太陽と月の大地
▽千年の田んぼ
高等学校の部（3冊）
▽わたしがいんどんだ戦い
▽39年
▽車いす犬ラッキ
▽いのちは贈りもの

Pick Up



こんびら狗
今井恭子 著
飼主の病気が治るよう祈願するため、犬のムツキは江戸から讃岐の金毘羅さんまでお参りに出る。本当にあった風習「こんびら狗」を基にした歴史物語。



跳べない蛙
金柱聖 著
北朝鮮にあるという「思考を奪うための文学」とは。北朝鮮で党の作家をしていた脱北者の著者が、北朝鮮文学の裏側を明かす。



さざなみのよる
木皿泉 著
小国ナスミ、享年43歳。その死は波紋のように家族や知人へと広がり…。命のまばゆいきらめぎを描いた感動と祝福の物語。

吉井勇記念館だより

企画展 山ふかく人は楽しく生きてあつた

当館の開館15周年を記念して、猪野々地区と共催による企画展「山ふかく人は楽しく生きてあつた」を開催します。また、地域資料等によって当時の情景を思い起こし、勇が猪野々に感じた魅力や地域とともに再発見してまいります。ぜひご覧ください。

吉井勇が猪野々で暮らした当時の日々の様子や、猪野々の里人との交流を勇の

【参加費】 無料
【場所】 猪野々集会所
【送迎バス】 ※要予約
香美市役所本庁舎より、JRBバス美良布駅経由で、送迎バスを運行します。ご利用ください。

【日時】 7月21日（土）
14時～13時20分（学芸員による展示解説あり（要入館料））

【期間】 7月4日（水）～
12月2日（日）

座談会 猪野々・今昔物語

企画展の関連イベントとして、座談会を開催します。吉井勇が詠んだ猪野々の歌を面影にしながら、猪野々翁に往時の猪野々と今を語ってもらいます。勇が見て、感じた猪野々の魅力を一緒に探ってみませんか。

【日時】 7月21日（土）
14時～13時20分（学芸員による展示解説あり（要入館料））

【参加費】 無料
【場所】 猪野々集会所
【送迎バス】 ※要予約
香美市役所本庁舎より、JRBバス美良布駅経由で、送迎バスを運行します。ご利用ください。

【日時】 7月21日（土）
14時～13時20分（学芸員による展示解説あり（要入館料））

【期間】 7月4日（水）～
12月2日（日）

◆お問い合わせ先 吉井勇記念館 ☎58・2220

★おわびと訂正…6月号の風の流にある「大釜に若布放てばき緑に」という俳句は、正しくは「大釜に若布放てばき線に」です。おわびして訂正します。